

2018年6月9日

中3受験生・保護者の皆様へ

受験生の夏の過ごし方

期末試験を終え、これから夏休みに入ります。部活の引退を迎えた生徒も多く、これからは本格的に「受験生」として勉強をすることになります。夏休み以降、これほどまとまった時間は取れません。ではどのようにこの大事な「夏」を過ごせばいいのでしょうか。3つの指標をもって夏休みに臨みましょう。

① 10時間以上の勉強を苦と思わない耐性を体に染み込ませる。

受験生に「夏休み」はありません。休んでなんかいられません。この夏でやることはたくさんあります。1・2年の復習、2学期の予習、受験の基礎固め etc.……。よって今年も田進ゼミでは「伝統の400時間カリキュラム」を実施します。夏休み約40日のなかで1日平均10時間勉強しなければならない耐久戦です。これは気合という言葉だけで簡単にできることではありません。これだけの勉強をするためにはそれ相応の準備が必要です。

では具体的な準備とはなにか。それは事前に予定を立てることです。「さあ今日は何をやるのかな」ではなく、「やるべきことをこなしていたら10時間経っていた」という状態が最高です。授業の予習復習+αで予定を立てましょう。人によってやることは違うのが自然です。担当の先生と話し合っって夏休み中に何をするのかを決めましょう。

400時間を達成するためのコツは「適度な息抜き」をすることです。毎日睡眠と勉強だけでは死んでしまいます。ただし、あくまで「息抜き」です。時間を決めて、それ以降ならだらとしないような息抜きを見つけましょう。

夏休みは長いようであつという間です。8月31日に自信を持って「勉強した！」と言えるような夏休みを過ごして下さい。

② 夏が終わるまでに「高校選び」をクリアする

「高校選び」といってもこれから3年間通う高校をそんなに簡単に決めることは出来ません。そこで「高校選び」に対する2つのミッションを与えます。

1つ目は「実際に高校に足を運んでみること」です。多くの高校が中学生を対象にしたイベントを開催する時期です。説明会や公開授業、部活体験など、実際に高校の中に入ることでできる貴重な機会なので、なるべく多くのイベントに参加することをおすすめします。

2つ目に「志望校を3つ決めること」です。公立志望でも私立志望でも、「1つの高校しか受けない」と考えている受験生は少ないはず。夏休みが終わるまでには、行きたい高校名を具体的に3つ挙げられるくらいにはしておきたいものです。

③ 2学期の内申点を上げる準備する

内申点を上げるための準備として3つ覚えておいて下さい。

1) 夏休みの宿題は期限厳守で提出しよう！

どの中学校も夏休みの宿題は出ることでしょう。提出しないものや期限を過ぎたものがあれば、必ず内申点で大きくマイナス評価になります。塾がない土日やお盆休みなどを利用して余裕を持って終わらせましょう。

2) 休み明けテストは満点を狙おう！

多くの中学校が9月の新学期の初めにテストを実施します。夏休み中の学習成果を測るという意味がありますし、もちろん内申点評価につながります。学校によっては中間や期末試験と同じくらいの扱いをすることもあります。万全の体制でテストに挑みましょう。

3) 授業態度を改善しよう！

通知表や三者面談で授業態度について指摘された、という場合は特に要注意。授業のない時期だからこそ、9月以降に備えて授業態度の改善を強く意識するべきです。就寝時間や起床時間、服装や髪型などが乱れやすいのが夏休みです。生活面についてはご家庭での親御さんの力が不可欠です。ご協力をお願いします。

◆田進ゼミ上池台校

◆03-3728-5939(受付 14:30~22:00)

◆infokamiikedai@denshin-z.co.jp